

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●朝日杯フューチュリティSはサトノアレスが優勝

12月18日(日)の朝日杯フューチュリティS(G I)ではサトノアレス(牡2歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝しました。藤沢調教師は前週の阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)もソウルスターリングで制しており、同一年の阪神ジュベナイルフィリーズと朝日杯フューチュリティS制覇は調教師として史上初めてのこととなります。

●松山弘平騎手がJRA通算400勝を達成

12月18日(日)の5回阪神6日・第12レースとしておこなわれた高砂特別ではコウエイエンブレムが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、現役38人目となるJRA通算400勝(5845戦目)を達成しました。

●鈴木孝志調教師がJRA通算100勝を達成

12月17日(土)の4回中京5日・第3レースではオルノスが1着となり、同馬を管理する鈴木孝志調教師(栗東)は、現役151人目となるJRA通算100勝(1795戦目)を達成しました。

●中野栄治調教師がJRA通算200勝を達成

12月18日(日)の5回中山6日・第12レースではオートクレールが1着となり、同馬を管理する中野栄治調教師(美浦)は、現役107人目となるJRA通算200勝(4535戦目)を達成しました。

●2016年中京競馬リーディングジョッキーは福永祐一騎手

12月18日(日)の4回中京6日をもって今年の中京競馬が終了し、21勝をあげた福永祐一騎手(栗東・フリー)が2016年中京競馬リーディングジョッキーとなりました。

●ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が単独第8位に

12月18日(日)の5回阪神6日・第8レースではナムラケイトが1着となり、ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が1273勝となりました。これはパーソロン産駒の1272勝を上回り、JRA通算勝利数単独第8位となる記録です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●寒菊賞(水沢)は人気のベンテンコゾウ【各地の主要2歳重賞】

寒菊賞(12月11日、水沢、1600^円)は、3番手から3コーナーで先頭に立ったベンテンコゾウ(牡、父サウスヴィグラス)が後続を4馬身引き離し、単勝1.1倍の支持に応じて南部駒賞に続く重賞2連勝を達成。金沢ヤングチャンピオン(11月27日、金沢、1700^円)は、先手を取り、向正面で一旦は2番手に控えた単勝1.1倍で圧倒的人気の重賞2勝馬ヤマミダンス(牝、父ハーツクライ)が間もなく先頭を奪い返すと、3馬身差の楽勝を収めてデビュー以来の連勝を5に伸ばしています。プリンセスC(11月28日、水沢、1400^円、牝馬)は、逃げた単勝1.3倍で1番人気の浦和からの遠征馬スターインパルス(父サウスヴィグラス)が5馬身差で圧勝しました。

●アウォーディーらが参戦、12月29日の東京大賞典(大井)

東京大賞典(G I、大井、2000^円)は、安定感のあるアウォーディーが筆頭格、前残りの展開ならコバノリッキー、逆に前崩れなら昨年の覇者サウンドトゥルー、ノンコノユメがそれに続き、他ではアポロケンタッキー、カゼノコ、モズライジンの順に有力視されます。

●12月28日の兵庫ゴールドT(園田)はノボバカラが有力

兵庫ゴールドT(Jpn III、園田、1400^円)は、ノボバカラが中心、以下ニシケンモノノフ、ドリームパレンチノ、グレープブランデー、ラブバレット(岩手)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●英ダービー3勝のスウィンバーン元騎手が死去

イギリスのウォルター・スウィンバーン元騎手(55歳)が12月12日にロンドンで亡くなりました。同騎手は、1981年シャーガー、86年シャーラスタニ、95年ラムタラで英ダービーに3勝。シャーガーでの初勝利時はまだ19歳でした。そのほかにも83年のG I 凱旋門賞をオールアロング、96年のG I ブリーダーズカップ・ターフをピルサドスキーで制すなど活躍。減量に苦しんで2000年に騎手を辞めた後は、04年に厩舎を開業しましたが11年に引退していました。

●カリフォルニアクロームが楽勝～次走はベガサスワールドC

12月17日に米カリフォルニア州のロスアラミトス競馬場で行われたウインターチャレンジS(ダート8.5^分)を単勝1.05倍の圧倒的1番人気に支持されたカリフォルニアクローム(牡5歳、父ラッキーブルピット)が12馬身差で楽勝。コースレコードも更新(1分40秒03)しました。このレースは、世界一の総賞金1200万^{ドル}(約14億1500万円)をかけて、1月28日にフロリダ州ガルフストリームパーク競馬場で行われるG I ベガサスワールドカップ(ダート9^分)に向けたステップレースを探していたカリフォルニアクローム陣営のために、同馬の調教拠点となっているロスアラミトス競馬場が新設したものの、1着賞金は5万^{ドル}(約590万円)でした。